

企画展

プラネタリウムの 歴史と 大阪

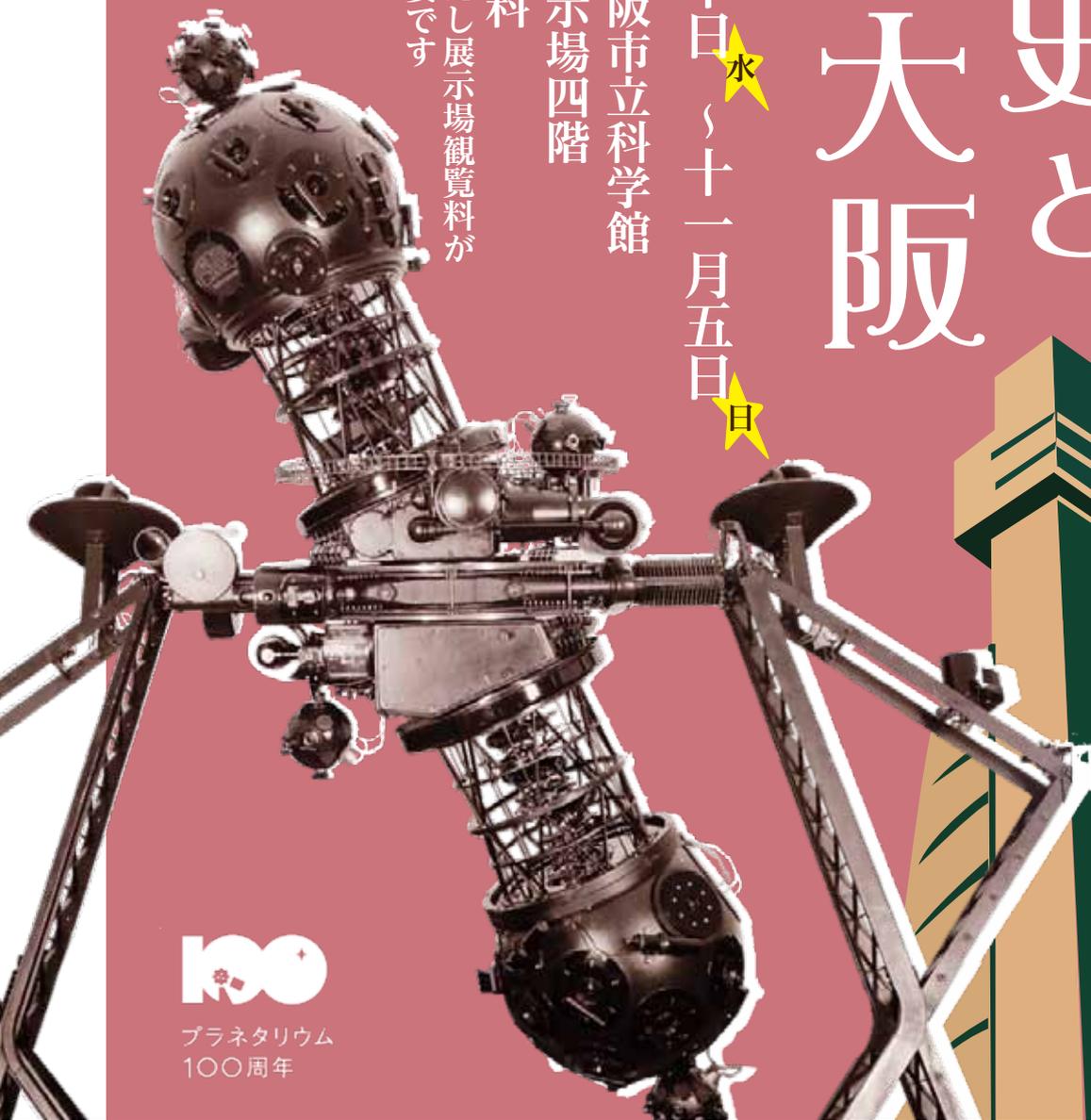
令和五年八月三十日水～十一月五日日

場所 大阪市立科学館

展示場四階

観覧料 無料

※ただし展示場観覧料が必要です



プラネタリウム
100周年

主催：大阪市立科学館

大阪市立科学館

Osaka Science Museum

〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1

電話 06-6444-5656
ホームページ <https://www.sci-museum.jp/>
開館時間 9:30～17:00 (展示場入場は16:30まで)
休館日 毎週月曜日 (休日の場合は翌平日)、8/29 (火)
お知らせ 2023年11月6日 (月) から2024年夏ごろまで
リニューアル工事等のため全館休館いたします。

—最新情報は科学館公式ホームページでご確認ください—



Osaka Metro 四つ橋線「肥後橋駅」3号出口から西へ約500m
京阪電車 中之島線「渡辺橋駅」2号出口から南西へ約400m

概要

丸い天井に本物そっくりの星空を映し出すプラネタリウムは、1923年にドイツで誕生し、今年で100周年を迎えます。また、今から86年前の1937年には、大阪市立電気科学館で日本最初のプラネタリウムが登場しました。本展では、誕生から現在まで発展を続けるプラネタリウムの歴史を概観するとともに、大阪に登場した日本初のプラネタリウムや電気科学館の活動、今に受け継がれた伝統を紹介します。

プラネタリウムの歴史

近代的なプラネタリウムは、1923年10月21日にドイツ博物館で試験公開、1925年には一般公開され、100年の歴史が始まりました。その後、1950年代には国産化に成功、近年はデジタル技術も導入され、大きく発展しました。現在、国内には300以上のプラネタリウム施設があり、世界第2位のプラネタリウム大国となっています。



大阪市立電気科学館（1937年）



世界初のプラネタリウム投影機
カールツァイスI型（ドイツ博物館）



ツァイス星座絵投影機



電気科学館星座絵原版ボックス



冊子「電気科学館建築記念」



天象館案内リーフレット



電気科学館絵はがき

スペシャルナイト プラネタリウム100周年記念イベント

概要

10月21日は光学式プラネタリウムがドイツで登場して100周年の日です。これを記念して、ドイツや国内各地のプラネタリウムからの中継をはじめ、大阪で誕生した日本最初のプラネタリウムの話や特別投影などを行い、プラネタリウム100周年を祝います。

- 日 時：2023年10月21日（土）18:30～20:00（18:00開場）
- 会 場：プラネタリウム ●対 象：どなたでも
- 定 員：250名（先着順） ●参加費：1,000円
- 申込方法：観覧券のWeb販売サイト「Webket」、または科学館チケットカウンターにて前売券をお求めください。
- チケット販売：2023年9月15日（金）10:00～ ※売り切れ次第販売を終了します。



カールツァイスII型